

トラ技圧縮コンテスト (Toraji Compression Contest) —— 雑誌『トランジスタ技術』の広告ページを取り除き、収納しやすいよう薄く圧縮する技術を競う大会のこと。一九九八年に第一回が開催され、いつときはゴールデンタイムで放送されるまでになったが、電子書籍の台頭たいとうに伴い衰退、二〇二二年を最後に中断された。ファンからの強い要望を受け、運営側は二〇三六年に「最後の大会」の開催をアナウンスした。

決着は目前である。

ここまで来れば、もう技も力もない。あとは、最後の勝負を決めるわずかな運だけだ。それがどちらへ傾くのか。アイロンの熱気が顔をあぶり、汗が玉となり滴したたった。

「ゆくぞ」

「ああ」

その声は歓声にかき消される。二人の目に迷いはない。梶原かじわらと坂田さかたが、同時に本を手に取った。『トランジスタ技術』——通称、トラ技。その現存する最後の二冊を。

この雑誌の創刊は一九六四年。

広く愛読されてきた、エレクトロニクスの総合誌である。だが、狭い国でのこと。アメリカのステータスのように分厚い本は、愛好家たちの頭痛の種であった。そのため、さまざまな保存方法が考案されてきた。ファイリングをする者がいた。電子化をする者がいた。しかし一般に広く知られているのは、おそらく「圧縮」であろう。